科目名	資格対策講座1							年度	2025
英語科目名	Qualification Prep Lecture 1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必/選	選※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	山本璃空	教員の実務経験		有	実務経験の職種 プロデュクリエイ		ーサー、メディア ター		

【科目の目的】

ビジネス分野の検定試験に合格するための知識を習得する。その知識を検定試験の対策に活かすと同時に、日本社会の動向に興 味を持ち、自身がどのような社会人になるかのビジョンを持つための視点を養う。

【科目の概要】

ビジネス能力検定(B検)ジョブパス、JPPA映像音響処理技術者、Pro Tools、イベント検定、MOSなどの資格受験対策講座です。

【到達目標】

- A. 当学科が推奨するビジネス分野1種類の検定試験に合格する程度の知見を取得する。
- B. 検定対策として学んだ知識を、2年生前期の学習の場に活かす視座を得る。 C. 日本社会の動向に関心を持ち、2年生後期に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ。

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めな い。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

亚加甘港 11 4									
	評価基準=ルーブリック								
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル 1				
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	当学科が推奨するビジネス分野1種類の検定 試験に合格する程度の 知見を取得する		当学科が推奨するビジ ネス分野 1 種類の試験 範囲程度の知見を取得 する		到達目標Aについてさ らなる努力が必要				
到達目標 B	検定対策として学んだ 知識を、2年生前期の 学習の場に活かす視座 を得る		検定対策として学んだ 知識を説明できる		到達目標Bについてさ らなる努力が必要				
到達目標 C	到達目標		2年生後期に向けて自 分がどのような社会人 になってゆくかのビ ジョンを持つ	到達目標Cについてさ らなる努力が必要					

【教科書】

資格対策用プリント、各種資格検定対策本

【参考資料】

必要に応じて、プリントを配布する

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、受験時の模擬試験・資格受験結果の報告などを総合的に判定する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名 英語表記		資格対策詞	年度	2025					
		Qualification Pr	cep Lecture 1	学期	前	丁期			
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価		
	第一課題		1 資格対策とは						
1	課題発表	課題の趣旨を理解	2 課題発表 第一課題の意義がわかる						
	概要説明		3 課題理解 課題の内容を理解できる						
	第一課題		1 現場体験 現場での課題活用事例を知る						
2 実践	現場を想定した体験	を想定した体験 2 課題の構造化 課題を分解し、構造化する							
			3 課題練習 構造化した課題について練習を行う						
		現場を想定した体験	1 現場体験 現場での課題活用事例を知る						
3 実践	実践		2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する					
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う					
		現場を想定した体験	1 現場体験 現場での課題活用事例を知る						
4 実践	実践		した体験 2 課題の構造化 課題を分解し、構造化する						
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う	習を行う				
		現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る					
5 実践	実践		2 課題の構造化	果題の構造化 課題を分解し、構造化する					
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う	習を行う				
		現場を想定した体験	1 現場体験 現場での課題活用事例を知る						
6	実践		と想定した体験 2 課題の構造化 課題を分解し、構造化する						
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う					
		応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る					
7 まとめ	まとめ		2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		3			
			3 課題発表	第一課題をまとめ、発表する					
	第二課題		1 第一課題の振り返り 第一課題について振り返りができる 課題の趣旨を理解 2 課題発表 第二課題の意義がわかる						
8	8 課題発表 課題の	課題の趣旨を理解							
	概要説明		3 課題理解	課題の内容を理解できる					
		現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る]			
9	実践								
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う					
			1 現場体験	現場での課題活用事例を知る					
10 実践	実践	現場を想定した体験	2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3			
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う					
		現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る]			
11 実践	実践		2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3			
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う					
		現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る					
12	実践		場を想定した体験 2 課題の構造化 課題を分解し、構造化する						
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		<u> </u>			
		現場を想定した体験	1 現場体験 現場での課題活用事例を知る を想定した体験 2 課題の構造化 課題を分解し、構造化する						
13 実践	実践								
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う					
14	まとめ	応用方法を学ぶ							
			3 課題発表	第二課題をまとめ、発表する					
			1 第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる					
15	総合復習	復習の実践	2 第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		3			
			3 資格取得の可能性	授業対象資格を取得することへの可能性を知る					

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等